

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜「共同授業」を 生涯学習講座などに活用しませんか

岐阜県と県内の21の大学等高等教育機関からなる連合体である、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜は、地域における知的活動の中心拠点として、高等教育に対する多様なニーズに的確に対応し、地域社会の発展に寄与することを目的に、様々な事業を展開しています。

その主要事業である「共同授業」は、著名外部講師が一部を担当する大学での講義を、対面授業、遠隔ライブ授業、インターネットによるeラーニング授業の3方式により、加盟大学の学生のほか社会人、高校生にも提供しています。

市町村独自のコンソーシアム・サテライト教室を設置するなどして、「共同授業」を市町村の生涯学習講座として利用していただくことも可能です。

【 活用例 1 】サテライト教室の設置

高山市・美濃加茂市・下呂市・海津市・坂祝町では、公民館等に独自にネットワーク大学コンソーシアム岐阜のサテライト教室を設置し、「共同授業」の一つである「NPOコミュニティ論」の授業（録画版）を生涯学習講座として市民に提供しています。

また、講義終了後には、受講生による勉強会を行うなど、まちづくりの実践活動に至るための取組も積極的に行っています。

「NPOコミュニティ論」の修了者は、「岐阜県コミュニティ診断士」の受験資格を得られることから、地元のまちづくり活動のリーダーとなる人材養成にも役立っています。

受講者分の受講料（5,000 / 人）は、各市町が負担しています。

【 活用例 2 】生涯学習講座への活用

御嵩町では、平成22年6月にネットワーク大学コンソーシアム岐阜と「覚書」を締結し、前年度以前に実施された「共同授業」の一部をeラーニングにより生涯学習講座として町民に提供しています。

活用科目： 前年度以前に行われた「共同授業」
（eラーニングで実施された授業科目 約15科目、100講義）
受講料： 100千円 / 年（御嵩町負担 人数制限無し）

【その他の方法】

ネットワーク回線とテレビ会議機器を整備し、遠隔ライブにより、講師との質疑応答も可能な授業を提供します。
（ただし、授業日時、時間は限定されます）